

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 23 日 (2012.8.23)

【公開番号】特開 2011-37016 (P2011-37016A)

【公開日】平成 23 年 2 月 24 日 (2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報 2011-008

【出願番号】特願 2009-183540 (P2009-183540)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 6 日 (2012.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の記録素子を配列した素子列を有する複数の記録ヘッドと、
前記複数の記録ヘッドを、前記記録素子の配列方向と交差する方向に往復走査する走査手段と、

各記録ヘッドの複数の記録素子を複数のブロックに分割し、前記記録素子をブロック毎に順番に駆動する時分割駆動を行う駆動手段と、

前記記録素子の配列方向における前記記録ヘッド間のずれ量を取得するずれ量取得手段と、

前記ずれ量取得手段によって取得されたずれ量に応じて、そのずれを補正するよう、少なくとも一つの記録ヘッドの使用記録素子群をずらすと共に、前記ブロックの駆動順序を変更するずれ補正手段と、

を備えたことを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記補正手段は、前記複数の記録ヘッドによって記録媒体に記録されたドットの形成位置が同一位置となるように、前記ブロックの駆動順序を変更することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記ずれ補正手段が、基準のブロック駆動順データを記憶する第 1 の記憶手段と、前記取得されたずれ量に対応する駆動ブロックオフセット値を決定する決定手段と、この決定された駆動ブロックオフセット値に基づき基準のブロック駆動順データを並べ替えて記憶する第 2 の記憶手段とを備え、

前記時分割駆動が、前記第 2 の記憶手段に記憶されたブロック駆動順データに従って、前記少なくとも一つの記録ヘッドの前記記録素子をブロック毎に順番に駆動するものであることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記決定手段が、前記ずれ量と駆動ブロックオフセット値との関係を予め定めたテーブルから、前記取得されたずれ量に対応する駆動ブロックオフセット値を決定することを特徴とする請求項 3 に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記ずれ補正手段が、前記ずれ量と前記使用する記録素子群との関係を予め定めたテーブルから、前記取得されたずれ量に対応する使用記録素子群を決定することを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記複数の記録ヘッドは、互いに異なる色のドットを形成するために用いられることを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明の一形態によれば、

複数の記録素子を配列した素子列を有する複数の記録ヘッドと、

前記複数の記録ヘッドを、前記記録素子の配列方向と交差する方向に往復走査する走査手段と、

各記録ヘッドの複数の記録素子を複数のブロックに分割し、前記記録素子をブロック毎に順番に駆動する時分割駆動を行う駆動手段と、

前記記録素子の配列方向における前記記録ヘッド間のずれ量を取得するずれ量取得手段と、

前記ずれ量取得手段によって取得されたずれ量に応じて、そのずれを補正するよう、少なくとも一つの記録ヘッドの使用記録素子群をずらすと共に、前記ブロックの駆動順序を変更するずれ補正手段と、

を備えたことを特徴とする記録装置が提供される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

好ましくは、前記補正手段は、前記複数の記録ヘッドによって記録媒体に記録されたドットの形成位置が同一位置となるように、前記ブロックの駆動順序を変更する。好ましくは、前記ずれ補正手段が、基準のブロック駆動順データを記憶する第 1 の記憶手段と、前記取得されたずれ量に対応する駆動ブロックオフセット値を決定する決定手段と、この決定された駆動ブロックオフセット値に基づき基準のブロック駆動順データを並べ替えて記憶する第 2 の記憶手段とを備え、前記時分割駆動が、前記第 2 の記憶手段に記憶されたブロック駆動順データに従って、前記少なくとも一つの記録ヘッドの前記記録素子をブロック毎に順番に駆動するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

好ましくは、前記ずれ補正手段が、前記ずれ量と前記使用する記録素子群との関係を予め定めたテーブルから、前記取得されたずれ量に対応する使用記録素子群を決定する。好ましくは、前記複数の記録ヘッドは、互いに異なる色のドットを形成するために用いられる。